

はじめに

金澤工業大学の交換留学10月分の報告を以下に記載します。

授業

中間試験に近いこともあって、キャンパスの至る所で教科書を広げている学生を目撃します。しかし土曜・日曜は一遍変わって遊びまくっているようで、スイッチの切り替えという点において、アメリカらしさを感じると同時に、自身の生活リズムを見直す上で非常に参考になります。

天候

10月の中旬ころから、急激に気温が下がっています。日々の分散は非常に大きいですが、夜になるとコートやジャケットを羽織りたいと感じるほど寒くなる日もあります。しかし外では半袖のまま歩いている人も多く、日本人との感覚の違いには驚きを隠せません。

文化

1. Halloween

Halloween 当日は外に出ると仮装した人々大量にいたりなどを想像していましたが、そこまで多くの人が仮装している訳ではありませんでした。どうやら今年の Halloween 当日が月曜日だったということもあって、どちらかというと盛大な仮装パーティーなどは2日前の土曜日に行われていたようです。

2. Lock-In

Halloween の時期に合わせて、昼の15時から翌日の朝8時までひたすらアニメを見続けるイベントが開催されたので参加してきました。このように皆で一つの場所に集まって徹夜で何かをするというイベントを Lock-In と呼ぶらしく、キリスト教のミサなどでも同様の行事が行われることもあるらしいです。因みに途中で眠ったものは敗者らしいです（途中寝ていたら「寝たら死ぬぞ！」って感じで叩き起こされました）。日本では友達同士で同様のイベントを行うことはありますが、大勢で行うことはあまり聞かないので、Lock-In はアメリカ文化の一つともいえるのではないのでしょうか。

3. Home coming

年に一度、卒業生が母校に帰ってくるイベントで大学内には卒業生を迎えるために様々な飾り付けがなされていました。また、その日に合わせてフットボールチームが地元に戻ってきて、試合なども行っていたようです。当日、街の中は普段に比べて少し盛り上がりがあったような気がします。

私はアメリカのスポーツといえば野球というイメージが強いのですが、それ以上にフットボールの人气が強いようです。その証拠に、どのレストランに入ってもテレビではフットボールの試合を流していますし、今年はイリノイ州の野球チームであるシカゴ・カブスがワールドシリーズ進出を決めました。街は普段通りでした（シカゴの街は大変な騒ぎだったようですが）。私の経験上、地元の野球チームが優勝ともなると人が川に飛び込んだり、人形を川に投げこんだりする騒ぎが起こるのが常ですが、アーバナ・シャンペーン地域ではそのようなことはないようです。

以上で報告を終わります。